

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2011年09月30日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000031"/>	整理番号 <input type="text" value="11506"/>	担当者 <input type="text" value="峯崎 隆司"/>
表 題	<input type="text" value="射出成形金型内の粒子濃度分布・温度分布同時計測法"/>		
技術分野	<input type="text" value="機械・加工"/>	<input type="text" value="電気・電子"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="固体液体の混相流すべての産業に応用可能な技術"/>		
目 的	<input type="text" value="従来の分布特定方法では、複数の熱電対を金型外周に設置すれば、ポリマーの表面温度を計測することができるが、内部の温度を計測できない。本発明では、1)内部の温度をリアルタイムに特定することができる分布特定方法及び分布特定装置を得ること、2)ポリマーに混入されている導電性粒子の濃度分布をリアルタイムに特定することができる分布特定方法及び分布特定装置を得ることを目的とする。"/>		
技術概要	<input type="text" value="ポリエチレンペレットは、温度を上昇させると、固体からガラス転移し融点となる。ガラス転移温度領域の誘電率と温度分布の関係は、温度上昇下降速度にも依存し、非常に複雑で、詳細な関係は明らかにされていない。その過程において、キャパシタンスを多点で測定し、誘電率分布を再構成し、ガラス転移温度領域以外では、その誘電率分布から、温度分布をDebye式を用いて算出する。または、ガラス転移温度領域においては、Debye式を用いずに、誘電率と温度との関係を、校正曲線により求める。さらに、測定周波数を高速でスイープすることにより、ピラーの濃度分布と温度分布とを分離し、同時に計測を可能とする。"/> <input type="text" value="ポリエチレンペレットが固化する過程の温度分布を三次元的にリアルタイムで可視化計測し、その3D+時間の4D可視化画像より、金型外側に配置している冷却流路内の温度をリアルタイム制御する。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp